子どもたちの輝く未来のために！

平成18年4月21日発行

教育センターニュース

ミネルバ

99号

佐賀県教育センター http://www.saga-ed.jp/
〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上
TEL 0952-62-5211　FAX 0952-62-6404

特集記事
●所長メッセージ 絶えざる研究と修養
●入賞おめでとうございます!
●４３０名が教育実践交流会に集う!
●INFORMATION 教育センター 知っ得情報
教育講演会のお知らせ
平成１８年度新設講座が登場します！

絶えざる研究と修養

所長　宮崎正則

学校では新学期がスタートし，先生方も新たな気持ちで毎日の教育活動に励んでおられることと思います。教育センターも，インターネットによる講座申込みシステムを導入したり，集中研修（旧断続研修）の募集時期を前年度内から新年度に改めたりするなど，先生方にとって利用しやすい教育センターを目指してスタートしたところです。

さて，学校には学校評議員会というものが設けられて，学校運営に対して意見・提案をいただくという制度がありますが，教育センターにも，学識経験者・教育委員・学校現場の先生等で構成される「教育センター運営協議会」が設けられて，教育センターの運営等について御意見をいただくという制度があります。昨年夏に行われた協議会の席上，ある委員の方から，「現場の先生方は，（教育センターのような）恵まれた環境・充実した内容で研修できて，いいですね。」という趣旨の発言がありました。

教育センターは，先生方が研修する機関・施設でありますが，研修の法的根拠は，教育公務員特例法第21条に，「教育公務員は，その職責を遂行するために，絶えず研究と修養に努めなければならない」と定めてあります。教科・領域の研究や教員としての人間的な修養について常に努めなければならない，とは重い定めですが，なぜ教員には不断の研鑽努力が求められるのでしょうか。それは，教育という営みにおいては，教員の人格や能力の在り様がそのまま児童生徒に反映し，大きな影響を与えるからであると言われています。また，時代の変化に的確に対応して，教育上の新しい考え方や方法を取り入れるためにも研修が必要だからでしょう。

分かりやすい授業，興味・関心を高める指導，児童生徒の気持ちを温かく受け止める姿勢など，子どもたちが先生に期待する中味は様々です。教育センターは，そうした多様なニーズに応えるべく，基本研修・専門研修・集中研修等，全部で91の講座を設けて先生方の受講申込みをお待ちしています。

「ミネルバ」はローマ神話に由来する学問・知恵を司る女神の名前です。女神の連れているフクロウは知恵の象徴で，「黄昏に飛び立つ」と言われています。時代が新しく転換していく状況の中で，叡智をもって飛躍し，そこから新しい時代を切り開いていこうという願いが込められています。

入賞おめでとうございます！

平成18年2月16日(木)，教育実践交流会に先立ち，平成17年度の教育論文・マルチメディア教材の表彰式を行いました。今回は教育論文部門(校内研究，個人研究の部)，マルチメディア教材部門で優秀賞を受賞された学校及び先生方にお話をお聞きしました。(入賞結果はミネルバ98号でお知らせしております)

教育論文　校内研究の部　優秀賞

嬉野市立嬉野小学校　太田　ゆみ子校長
執筆代表　福田　哲也教諭

小学校における特別支援教育推進体制の構築
－校内リソースを活用した支援体制づくり－

受賞の感想をうかがうと，太田ゆみ子校長は，「職員が支え合い，協力し合って子どもたちを育てていこうとする嬉野小学校は私の自慢の学校です。うちの学校の職員は，お互いの心遣いによって強く結びついているのです」と自負する。

執筆担当の福田教諭は，「嬉野小学校のよさを認めてもらったことがとても嬉しい。子どもたちを皆で支えていこうとする雰囲気を伝えたかった」と嬉しそうに語る。嬉野小学校に赴任して６年目。特別支援教育の校内体制づくりの中心となって，一人一人の児童に応じたきめ細やかな指導と支援に取り組んでいる。

校内では，全員が研究授業を行い，参観し合って相互に学び合うが，そこでは，今まで見過ごしていた，個に対応するための手立てや配慮に改めて気付かされる場合が多いという。

福田教諭は自作のワークシートが児童の実態に合ったものであるか，また，児童に学習内容を理解させ，その子の力を十分に引き出し伸ばしていくために有効な内容であるのかが気になり，しばしば通常学級の授業を参観する。

特別支援教育コーディネーターとして，ＰＴＡの会合等において，保護者の理解を深めていくための啓発活動を率先して行っている。福田教諭の真摯な姿勢と温かい人柄の表れた話ぶりに心を打たれた保護者からも大きな信頼を得ている。今後の課題として，特別支援教育に携わる人材を有効に活用し，具体的には児童に直接的な支援ができる教師によるケース会議を充実させたり，通常学級での指導・支援のさらなる工夫を行ったりすることを考えている。「すぐには答えが出ず，時間がかかることも多いけれど，一人一人の子どもにしっかり目を向けてこれからも取り組んで行きたい……。」福田教諭は目を輝かせながらそう語った。

(太田　ゆみ子校長と
福田　哲也教諭)

教育論文　個人研究の部　優秀賞

吉田　まりか教諭(佐賀市立神野小学校)

子どもが意欲的に取り組む英語活動の研究
－高学年児童の発達段階に応じた内容や指導法の工夫について－

「まりかさんの英語活動は人柄そのもの」と，木原師子校長。信頼と期待を感じさせる一言である。「決して流ちょうな英語を話せるわけではないが，とにかく，異文化への好奇心が強く，いろいろな人とコミュニケーションをとるのが好き。だから，海外へもよく行きます」と満面の笑顔で話す吉田教諭。英語活動に取り組み始めたきっかけは，以前勤務していた赤松小学校でのクラブ活動。国際理解教育の一環として地道に実践を積み重ね，今回その取組が評価された。

英会話の練習を中心としたスキル重視の英語教育とは対極的に，コミュニケーションの意欲や態度の育成と異文化理解を二本柱とした英語活動を一貫して提唱する。「子どもたちに半強制的に英語教育を行い，結果として英語嫌いを作ってしまったのではいけない」と熱く語る吉田教諭から，並々ならぬ国際理解教育への思いがひしひしと伝わってくる。

今回の教育論文でも紹介している授業実践例は，すでに英語活動を始めている先生たちからも，非常に参考になったとの声が多い。授業の中では，コミュニケーションの必然性がある場面を設定し，楽しさやよさを自然に感じることができるような活動内容が工夫されている。小学校各学年の発達段階や，一人一人の子どもの実態を熟知している小学校担任だからこそできる，英語活動の目指す姿がここにある。

小学校にも英語教育の波が広がりつつある今，吉田教諭は「これから取り組もうとしている先生方には，まず文部科学省の『小学校英語活動実践の手引』をしっかり読んでもらいたい。今後は，自分が実践するだけでなく，県内のあちらこちらの学校に，英語活動のあるべき姿を伝えていきたい」と語った。

(吉田　まりか教諭)

マルチメディア教材部門　優秀賞

小西　徹教諭（神埼市立千代田西部小学校）

算数教材

教育実践交流会マルチメディア部門のワークショップでの発表。詰めかけた参加者は口々に，小西教諭制作の「算数教材」について，「とても分かりやすい」，「今度授業でぜひ使ってみたい教材です」という感想を述べていた。

「誠実な人柄で，何事にもひたむきに取り組む先生です」と最所芳晴校長。語り口も大変穏やかな小西教諭だが，その中に児童の成長を見守り，じっくり育てていこうとする意志の強ささえ感じられる。

この教材を制作することになったきっかけは，４年生算数の分度器の使い方の学習の場面。その当時ＯＨＰシートを活用しながらも，「もっと子どもの理解を助けるものはないだろうか」，「実際，操作活動するより，分かりやすくできるものはないだろうか」，という課題を抱え，作品の制作に取り組んだ。

そして，工夫に工夫を重ねた教材の出来映えは，パソコン歴がわずか６年とは思えないほど，使いやすいものに仕上がっている。

今回の受賞の「一番の喜び」は，出身地，京都の恩師から，受賞についてのお祝いの連絡が入ったこと。自分の目標ともいえる，恩師からのお祝いの言葉に大感激した。そして，嬉しいことに，「家族もとても喜んでくれた」そうで，小西教諭の頑張りがお子さんにもしっかり伝わっている。

今後の課題として，「教育センターＨＰにあるハイパーテキスト指導案を参考にして，動画やビデオを取り込んだ指導案をまとめたい。それから，教材にドリルを取り入れ，自主学習にも耐えられるようバージョンアップしたい」と意欲的に語った。

(小西　徹教諭)

４３０名が教育実践交流会に集う！　多彩な分科会に参会者も納得！！

第七回佐賀県教育センター「教育実践交流会」が行われました。その様子の一部をご紹介します。

入賞者の方々です。センターＨＰに論文等をアップしています。

開会式の風景です。参加者席を新たに追加しました。

長期研修生のポスターセッションの様子です。大変盛況でした。

特別支援教育の分科会です。充実した会となりました。

道徳の時間を通して、情報モラルの指導の在り方を考えました。

理科のワークショップです。授業ですぐ使えるもので好評でした。

<参会者の声>

- ○　日ごろ聞けない専門的な話が聞けたり，高校の先生と交流できたりして有意義だった。
- ○　佐賀県教育の先進的な取組を交流できる機会として，是非継続してください。
- ○　短時間で密度の濃い内容で，学校ですぐ使える指導法を紹介してもらえた。また，たくさんの教具を見たり，作成したりする場がありよかった。
- ○　分科会･ワークショップ内容は，職場でもすぐ使えるので，とても参考になりました。
- ○　教育実践交流会に参加し，センター講座への関心がもてた。来年は時間が取れなくても，1コマだけでも参加します。
- ○　今回のように，学校でもできる内容を提案してもらえてよかった。
- ○　プロジェクト研究の内容は，とても参考になった。
- ○　楽しみながら勉強でき，日々の実践につながるものでよかった。
- ○　短い時間での凝縮された内容であった。資料も参考になるものが多く，論拠が明確で大変説得力があった。
- ○　すばらしい教材ができており，教育センターのホームページを見るのが楽しみ。フロッピーを頂いてよかった。

参会された先生方の声を生かし，もっと魅力的で，より実践的な交流会を催したいと思います。是非，同僚の先生方とお誘い合わせの上，おいでくださることを心よりお待ちしています。

教育センター　INFORMATION　知っ得情報

教育講演会のお知らせ

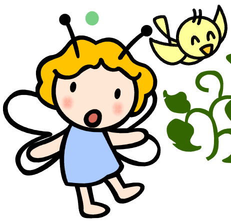
＊子どもの「学ぶ力」をどのようにして高めていくのか。

教育創造研究センター所長　髙階（たかしな）　玲治（れいじ）先生

演題「確かな学力と学習力を育てる
－学校･家庭で取り組む新しい学習メソッドー」

教育創造研究センターが提唱している「新しい学習メソッド」では，学校と家庭が共通理解して，学力向上の源となる学習習慣や生活習慣が形成され，「子どもが自ら学び出す」ことが期待できます。子どもの学びについて悩みの多い私たち教職員や保護者にとって大きな示唆となる内容であると考えます。

○日時　平成１８年６月１３日（火）１４：００～１６：００（受付１３：３０～）
○会場　佐賀市文化会館　中ホール
○直接教育センターへ「研修講座申込システム」で申込んでください。締切は５月２６日（金）です。



平成１８年度　先生方のニーズに応える

新設講座が登場します！

込締切りは，　１期……５月１９日(金)　２期……７月　７日(金)　研修講座申込システムで申込んでください。

１期

＊きらめき輝く学校づくり！　－学校活性化のヒントー　６／８(木)

○学校組織マネジメント講座
内容　学校経営ビジョン実現のためのポイントが学べます。対象は管理職の先生です。

＊話し上手は　魅力ある教師への第一歩！　６／１６(金)，７／２７(木)

○小･中学校話し方講座
内容　授業の中に生かす実践力を培うために，話す内容の構成の仕方や話し方のコツを学びます。

＊生き生き子どもたち！　－オリジナル画像の魔法－　６／２２(木)，２６(月)

○Photoshop Elementsを使ったディジタル教材作成講座
内容　画像処理ソフトの操作方法を習得し，オリジナル画像教材の作成技能を身に付けることができます。

２期

＊アニメーション教材で　わくわく授業！　８／４(金)，７(月)　１１(金)

○Flashを使ったアニメーション教材作成講座
内容　アニメーション作成ソフトの操作方法を習得し，オリジナルアニメーション教材を作成する技能を身に付けることができます。

＊今，食が危ない！　食育最前線！　８／１０(木)

○小・中学校食育講座
内容　学級活動や総合的な学習の時間に取り組める授業実践を学ぶことができます。

＜編集後記＞
緑の木々や花々が，春の陽差しを受けて，目にも鮮やかに輝いています。
教育センターでは，今年度も多彩な講座を準備して，子どもー人一人の成長を温かく見守りはぐくむ先生方の研修のお手伝いをします。
佐賀県教育センター　http://www.saga-ed.jp/

※　新年度より　研修講座の受付，開講時間が変わります。
受付　８:４０～
開講　９:００　に変更になります。